社内自主検査

承 認	確 認	審査	作成
検査実施 責任者	ポイラー・ターピン 主任技術者	検査総括 責任者	検査担当者

H29.10.2 H29.10.2 49.10.2 439. 9.26

通知

検査主管課長(課<u>長(保修管理)</u>) H 29. / 0. 2

中国電力株式会社

島根原子力発電所第2号機

第17保全サイクル定期事業者検査成績書

30年高経年化技術評価に伴う再検査

施 設 名:原子炉本体

検 査 名:炉内構造物検査

要領書番号: S 2-17-Ⅲ-22

1. 発電所名

島根原子力発電所第2号機

2. 検 査 名

炉内構造物検査

3. 要領書番号

S2-17-11-22

4. 検査結果

検査項目	検査対象箇所	検査年月日	検査結果	検査実施 責任者	摘要
非破壊検査	H4(内面) (12回定期検査時にシュ ラウドのひび割れの切 除を行った箇所を含む)	平成29年9月11日, 12日,13日,14日, 15日,19日,20日, 25日	合格		

添付-1-1 非破壊検査記録 目視検査(VT-3)(今回対象外)

添付-1-2 非破壞検査記録 目視検査 (MVT-1)

5. 特記事項

Ti L

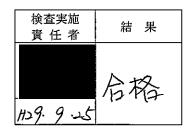
6. その他添付資料

添付一2 検査体制

添付-3 不適合管理

添付-4 検査手順

添付-5 検査工程



検査年月日: 平成 29年 9月 25日 検査担当者:

目視検査(MVT-1)

項目番	号 カテゴリ番号			検査対象		検査箇所		
G3. 1	L 0	0 I J G - B - 2		I J G - B - 2		シュラウド 周方向溶接継手 (シュラウドサポート リング無し)		H4(内面) (12 回定期検査時にシュラ ウドのひび割れの切除を 行った箇所を含む)
検査項目		判定基準		結果		備考		
目視検査 (MVT-1)		物の表面について摩耗, 食等の異常がないこと。	き裂,	良				

	目視	検査記	録(I	AVT-	1 (VTR 用))
発電所名	島根	:原子力発電	新 第 2 -	号機	確認日 会社名	平成 29 年 9 月 25 日 中国電力㈱
検査名	,	炉内構造	物検査		検査担当者	1 四 电力(m)
			1		検査日	平成29年9月25日
項目番号	G3. 10	カテゴリ 番号	I J G - B - 2		会社名	
系統	炉内構造物	検査箇所	#4(内面) (12 回定期検査時にシュ ラウドのひび割れの切 除を行った箇所を含む)		協力会社検査員	
検査対象 	シュラ!	クドサポート	·周方向溶	接継手		
	項目		内容		確認結果※	備考
	観察前		能である	5 mm) ワイ ことを VTR	র্ত্ত	
查 方 法	観察		き裂,腐	,検査対象表 食,浸食等の る。	結果は下記に 記載	
	観察後		能である	5 m m)ワイ ことを VTR	Ø	
	検査	確認巧	頁目		結果	備考
検	MVT-1	機器表	長面 .	□有	☑無	摩耗, き裂, 腐食, 浸食等の異常の有無を確認する。
查 結 果	確認項目 詳細結果	について, ! について, ! を添付する。	異常が有れ	ぃば,「有」の	の□にレを記入す。 □にレを記入し, 合は,任意の様式/	

備考) ※確認結果凡例 レ:異常なし

E)

HD	録名称 ————	<u> </u>	炉内構造物点検 			立会年月		,	7年 7月。	_
発	電所名	1	中国電力株式会場根原子力発電所	è社 2号機 		立会者	*			
1. 点	(検対象箇所						-			
Vo.	点検対	象箇所	点検数置	点検方法	点検日	結果	検査	負	備考	
1	上部 [‡] LPRM:	格子板 差込部	4セル 26-03 , 30-11 22-19 , 26-27	MVT-1	2017.6.2	7 良				
_										<u></u>
-							<u> </u>			, <u></u>
V			過度の変形・心合せ不∫ こついて、摩耗、き裂、∫)異常(りない	こと。	

承 認

2017.6.27 2017.6.27 2017.6.27

成

30年PLM炉内構造物点検工事記録より抜粋(実施時期:2017年1月19~2017年9月26日)

点	食 記 録	シート				i	已録No.: P	C-9(112	/115)
記	已録名称		炉内構造物点検	記録		立会年月	月日 2011	7年 2月	3 日
务	能電所名		中国電力株式会島根原子力発電所	会社 2号機		立会和	X .		
1. 5	点検対象箇所								
No.	点検対	象箇所	点検数量	点検方法	点検日	結果	検査員	備考	-
1		を持板 ウンボルト	32箇所∠ HB−1~32	VT-3	2017.6.2	7			
						1			
					 				
				İ					
٧			 過度の変形・心合せ不良 こついて, 摩耗, き裂, 版					 いこと。	
3. 4		公松							
備	 考					承副	2 審	査 作	

201/.6.2/ 2017.0.2/ 2017.6.27

社内自主検査

承	認	確認	審	査	作 成
検査:	実施 # :者	、イラー・ターピン 主任技術者	検査組 責任	総括 :者	検査担当者

H27. 1.28 1727. 1.28 129.7.28 429.7.14

中国電力株式会社 島根原子力発電所第2号機 第17保全サイクル定期事業者検査成績書

30 年高経年化技術評価に伴う再検査

施 設 名:原子炉本体

検 査 名:炉内構造物検査

要領書番号: S 2-1 7-Ⅲ-2 2

1. 発電所名

島根原子力発電所第2号機

2. 検 查 名

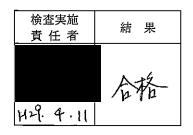
炉内構造物検査

3. 要領書番号

S2-17-III-22

4. 検査結果

検査項目	検査対象箇所	検査年月日	検査結果	検査実施 責任者	摘要
非破壊検査	上部格子板 周方向に 7.5% (166.5°~193.5°)	平成29年3月31日, 4月11日	合格		
非破壊検査	アクセスホール カバー 1 体(180°)	平成29年6月28日, 7月3日	合格		
非破壊検査	制御棒駆動機構 ハウジング 1 個 (26-03)	平成29年6月28日, 7月3日	合格		
非破壊検査	インコアモニタ ハウジング 1個(28-05)	平成29年6月28日, 7月3日	合格		-
非破壊検査	中央燃料支持金具 1個(26-03)	平成 29 年 4 月 6 日, 11 日	合格		
非破壊検査	周辺燃料支持金具 1 個(37-04)	平成29年3月31日, 4月11日	合格		
非破壊検査	制御棒案内管 1 個(26-03)	平成 29 年 4 月 14 日, 19 日	合格		
非破壊検査	シュラウド サポート 周方向溶接継手 H8(上面)	平成 29 年 3 月 9 日, 10 日, 13 日, 14 日, 15 日, 16 日, 17 日, 18 日, 21 日, 29 日	仓格		
非破壊検査	シュラウド サポート 周方向溶接継手 H8(下面)	平成29年5月26日, 27日,29日,30日, 31日, 6月1日,2日,5日, 6日,7日,8日, 9日,10日,14日	仓格		
非破壊検査	シュラウド サポート 周方向溶接継手 H9 (上面)	平成 29 年 3 月 9 日, 10 日, 13 日, 14 日, 15 日, 17 日, 21 日, 22 日, 23 日, 24 日, 27 日, 29 日	合格		



檢查年月日:平成 29年 4月 11日 檢查担当者:

目視検査(VT·3)

項目番	号 カテゴリ番号			検査対象		検査箇所
G1. 3	3 0 G-B-2				金具	1個(座標:26-03)
検査項目	判定基準			結果	備考	
目視検査 (VT-3)		告物について過度の変形,心 頂き,部品の破損および脱落 いこと。		良		

検査実施 責 任 者	結 果
	A.K
H29· 4·11	/ ከ / ከ

<u>検査年月日:</u>平成 **→**9年 ♀ 月 // 日 検査担当者:

目視検査(VT-3)

項目番	号 カテゴリ番号		カテゴリ番号 検査対象		検査箇所	
G1. 3	1. 30 G-B-2) 	周辺燃料支持	f金具	1個(座標:37-04)
検査項目	判定基準			結果		備考
目視検査 (VT-3)		造物について過度の変形,心 頂き,部品の破損および脱落 いこと。		良		

検査実施 責 任 者	結 果
H29. 4.17	合格

検査年月日:平成 ≥9年 ⊈月/9日 検査担当者:

目視検査(VT-3)

	項目番号		カテゴリ番号	検査対象		検査箇所	
)	G1. 3	0	G-B-2		制御棒案内管		1 個(座標:26-03)
	検査項目	查項目 判定基準				備考	
	目視検査 (VT·3)						·

目視検査記録 (VT-3(VTR用))								
必季证夕		島根原子力発電所 第2号機			確認日	平成29年4月11日		
発電所名	ļ "	・	界 2 万傚	会社名	中国電力㈱			
検査名		炉内構造物格	 食査		検査担当者			
				確認日	平成 <i>29年4月11</i> 日			
項目番号	G1. 3	30 カテゴリ 番号	G - B	3 – 2	会社名			
系統 	炉内構造	造物 検査箇所	1個(座標:26-03)		協力会社検査員			
検査対象		中央燃料支持	金具					
	項目	内容			確認結果※	備考		
 検 <u> </u> 査	観察前	18%中性灰色カーの黒線が識別可 VTRにより確認	可能である		Ŋ			
方	観察	異常の有無をVT			結果は下記に 記載			
法	観察後	18%中性灰色カー の 黒線 が 識 別 ロー VTR により確認・	可能である		ď			
	検査	確認項	目·		結果	備考		
		変形			有 丘無			
		傾き			4			
 検	V.T – 3				本 一 し 無			
査					有			
結		脱落 □			有 🗹無			
果	確認項 果を添 ・検査結果 ・干渉物等 付する。	項目について、異常が無ければ、「無」の□にレを記入する。 項目について、異常が有れば、「有」の□にレを記入し、任意の様式により詳細結 派付する。 果凡例: 検査項目に該当しない項目 等により点検が不可能な箇所がある場合は、任意の様式により点検不可範囲を添						
<i>佩考)</i> ※傩	認結果凡例	レ:異常なし						

	E	1月烩本記	———— 会 (v	т — '	2 (Υ/ΥΓΣ Η))				
目視検査記録 (VT-3(VTR用))										
 発電所名	島根原子力発電所 第2号機			確認日	平成29年4月11日					
				会社名	中国電力㈱					
 検査名		炉内構造物	給杏	検査担当者						
人里石		% 1 175 %		確認日	平成 ≥9 年 4 月 11日					
項目番号	G1. 3	カテゴリ 番号	G-B-2		会社名					
系統	炉内構造	造物 検査箇所	食査箇所 1個(座標:37-04		協力会社検査員					
検査対象		周辺燃料支持	金具							
	項目	内容			確認結果※	備考				
検	観察前	18%中性灰色カード上の幅 0.8mm の黒線が識別可能であることを VTRにより確認する。			□					
方	観察	異常の有無をV	TR により確	認する。	結果は下記に 記載					
法	観察後	18%中性灰色カ の黒線が識別 ¹ VTRにより確認	可能である		ď					
	検査	確認項	[E		結果	備考				
	V T – 3	変形			有 ☑無					
<u> </u> 		心合せ不良			有□無					
 検		傾き	,	□有 ☑無						
査		部品の	波損	口有		·				
結		脱落	÷		有					
備考)※確	・結果記載方法 確認項目について、異常が無ければ、「無」の口にレを記入する。 確認項目について、異常が有れば、「有」の口にレを記入し、任意の様式により詳果を添付する。 ・検査結果凡例: 検査項目に該当しない項目 ・干渉物等により点検が不可能な箇所がある場合は、任意の様式により点検不可範囲付する。 ※確認結果凡例 レ:異常なし									
1										

89

目視検査記録 (VT-3(VTR用))									
双铜形力	自相度フカ水緑形 体の日報				確認日	平成 29年 4月19日			
発電所名	島根原子力発電所 第2号機					会社名	中国電力㈱		
 検査名			炉内構造物検	*查	検査担当者				
	79 (1)1772E (2017).B.					確認日	平成 <i>29年4月19</i> 日		
項目番号	G1., 30		カテゴリ 番号	G − B − · 2		会社名			
系統	 炉内構造物 		検査箇所	1個(座標:26-03)		協力会社検査員			
検査対象	制御棒案内管								
	項目	内容				確認結果※	備考		
 検 <u>査</u>	観察前	18%中性灰色カード上の幅 0.8mm の黒線が識別可能であることを VTRにより確認する。				Ŋ			
方	観察	異常の有無を VTR により確認する。				結果は下記に 記載			
<u></u> 法	観察後	18%中性灰色カード上の幅 0.8mm の 黒線 が 識別 可能 であることを VTR により確認する。				ď			
	検査	確認項目				結果	備考		
	VT-3	変形				有			
		心合せ不良				有──□無			
l 検		傾き				有無			
査		部品の破損				有──□無	,		
結			脱落			有——□無			
果 ・結果記載方法 確認項目について、異常が無ければ、「無」の口にレを記入する。 確認項目について、異常が有れば、「有」の口にレを記入し、任意の様式により詳組果を添付する。 ・検査結果凡例: 検査項目に該当しない項目 ・干渉物等により点検が不可能な箇所がある場合は、任意の様式により点検不可範囲を付する。									
備考)※確認結果凡例 レ:異常なし									